

平成 28 年度事務事業評価表(一般用)

①事務事業名					担当	部課コード	900700	TEL	2921-1022	
事業コード					下水道維持課					
900705										
開始年度					33	年度	→		終了年度	年度
					グループ	維持管理第一G、排水設備G				

②事業の概要	事業の種類別	☒ 自治事務 ☐ 法定受託事務 ☐ 法定受託＋附加			根拠法令		
	分野別計画・指針					下水道法	
	関連・類似事業	下水道管渠布設事業、雨水対策事業（下水道整備課）					
	総合計画の体系	章	街づくり	節	下水道	基本方針	災害に強い下水道整備の推進
	事業開始の背景	昭和32年に公共下水道施設の建設を開始したことにより、翌、昭和33年度より下水道維持管理事業に着手した。					

③事業の内容	目的(どのような効果を目指して実施しているのか、具体的に)					
	下水道は、市民の安全で快適な生活を確保するために重要なライフラインである。適切な維持管理を実施し、十分にその機能を発揮させると共に継続的に利用できる環境を整える。					
	対象(誰を、何を対象としているのか)		対象数	単位	平成 26 年度	1,213 km
	公共下水道				平成 27 年度	1,225 km
事業の具体的な内容及び実施方法	①土砂及び油脂の堆積による流下能力の低下を防ぐための下水道管渠清掃。 ②老朽化している施設の更新。 ③下水道施設から発生する臭気対策。不明管・侵入水等のテレビカメラを使用した原因調査。 ④降雨災害防止のための対策及び巡視。 ⑤市内ポンプ場・調整池等の適切な運転管理、監視・安全管理の徹底。					

④経費	《会計種別》		企業会計	平成 26 年度 (千円)	平成 27 年度 (千円)	平成 28 年度 (千円)
	予算現額			405,009	425,472	636,529
	決 算 (見込み含む)			321,367	331,661	
	(非常勤特別職員) (臨時任用職員) (人) (人) (人) (人)					
	正規職員人件費		22.25 人	194,042	22.10 人	191,386
	事業費合計			515,409	523,047	
	財源内訳		一般財源	515,409	523,047	636,529
		国・県支出金				
		その他()				

⑤実績	項目名	項目説明	単位		H 26	H 27	H28見込み	将来目標	
	活動実績	下水道管の清掃	1年間に清掃した管渠延長	m		31,160	13,399	6,500	7,000
		マンホール蓋の取替え	1年間に取替えたマンホール蓋	個		684	518	500	600
		テレビカメラ調査	1年間に実施したテレビカメラ調査箇所	m		665	1,046	1,500	1,800

⑥成果	項目名	項目説明	単位		H 26	H 27	H28目標値	将来目標	
	成果指標	改善要望対応件数	マンホール蓋のガタツキ、振動、騒音、下水道管の詰まり、臭気、溢れ等。(目標値＝要望件数、実績＝完了総数)	件	目標値	154	151	140	100
					実績	154	151	☒ 「実績」拡大図る ☐ 「実績」縮小図る	
	目標達成状況		どれだけ目標に近づいているかを達成率として示しています		%	達成率	100	100	↑どちらかをチェックしてください

⑦改善点	(1)平成27年度中に改善した点(改善内容・その結果について記載してください)		(2)平成27年度成果指標の目標値が未達成の理由・分析	
	下水道のイメージアップを図るため、ライオンズとの連携協定に基づき「レオところん」のコラボマンホール蓋を設置し、市民へのPRを実施した。老朽化した下水道施設の耐震対策、マンホール蓋等による振動及びガタツキを解消するため、計画的に取替えを行うとともに、他の道路占用工事に併せた効率的な施工により舗装に係るコストの削減に努めた。		-	

⑧評価	評価	☒ 継続 ☐ 終了	事業実施方法(複数選択可)	☒ 拡大 ☐ 縮小 ☒ 改善・効率化 ☐ 現状維持 ☐ その他	理由	現業職員の減少により委託事業を増加する必要がある。老朽化した施設が増加しているため、維持管理費用も増える傾向にある。	
						理由	施設の老朽化による修繕の増加、また現業職員の減員分を委託事業増加により対応する。
	評価	(1)平成28年度に取り組んでいる状況				(2)今後の方向性	
		旧町地区における下水本管の長寿命化計画にあわせて、テレビカメラによる取付管の損傷状況を確認し診断を実施する。				下水道施設における適切な維持管理は安全で快適な市民生活を確保するうえで、大変重要な事業である。下水道処理区域の拡大、埋設管の老朽化、震災による耐震対策に伴い、当事業は今後ますます増大する。このライフラインの適切な維持管理は重要であり、効率化とコスト削減に努めながら住民サービスの低下を招かないようストックマネジメント手法による維持管理計画を策定する必要がある。	
評価日		H28.8.12		評価者職氏名		下水道維持課長 守谷 秀明	

⑨環境影響	有益な環境影響	4-2水質汚濁の防止		有害な環境影響を及ぼす原因活動	産業廃棄物の排出	規制を受ける環境法令等	有
						緊急事態	無